

平成二十九年 第十二期くまもと俳句ポスト

第十二期開函

日本伝統俳句協会理事 岩岡 中正 選

特選

おおい  
大地震の亀裂あらはな刈田かな

熊本県熊本市

野崎一雄

【講評】

一昨年の熊本地震である。稲が実っている間ははつきりしなかったが、稲を刈って刈田となると、こんなに大きな亀裂が走っていたのかと、あらためて驚き、再びあのときの恐怖がよみがえったのである。くつきりと深く大きい亀裂が印象的で、対象を瞬時に把握した、力強い写生句である。熊本地震からもうすぐ三年目だが、亡くなった方たちのご冥福をお祈りするとともに、今も仮設住宅に住む方たちをはじめ多くの被災者の方たちに心からお見舞いを申し上げたい。

わが輩通り賞

活断層走る大地や麦の秋

熊本県熊本市

森本尚子

入選

大好きのことは知らざり漱石忌  
熊本の八雲旧居に祭笛  
火の国は水のまほろば汀女の忌

熊本県熊本市  
宮城県仙台市  
熊本県熊本市

光永忠夫  
西澤勝  
山崎綾子

佳作

阿蘇の風スマートフォンに初尾花  
里泊り囲む夕餉のずるき汁  
田原坂戦の色の彼岸花  
本妙寺巨大山門秋の空  
ねえあにちやんちいぢいぢいぜみがないてるよ  
秋灯の裸電球旧居かな  
柿熟れて空にとけたり田原坂  
草枕旅の湯船に冬陽射す  
残暑でも水が綺麗な水前寺  
こわれたるくまものしろ秋の風

熊本県山鹿市  
熊本県熊本市  
長崎県諫早市  
熊本県熊本市  
熊本県熊本市  
神奈川県川崎市  
神奈川県相模原市  
京都府京都市  
東京都江戸川区  
熊本県熊本市

松尾光浩  
佐藤誠吾  
麻生勝行  
菊池一郎  
たかだよしゆき  
松原賀寿子  
矢澤孝二  
河野晴江  
岡田悠花  
とくながここ

投句総数

二二八句

市外

一二六句

市内

一〇二句

開函日 平成二十九年十二月三十一日